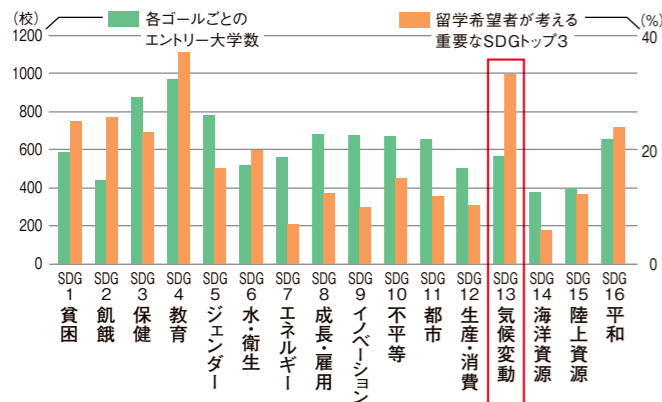


【図表2】大学のSDGsへの取り組み例

大学	主な取り組み
マンチェスター大学	▶専門の部門を設置 ▶現代版奴隷制に反対する声明の発表 ▶「プラスチック廃棄物削減計画」を策定
北海道大学	▶「SDGs事業推進本部」 ▶「サステイナブルキャンパスマネジメント本部(SCM本部)」の設置 ▶サステイナブルキャンパス評価システム ASSCの構築など
東北大学	▶大学院において「グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム(G2SD)」の提供 ▶「プラスチック・スマート」の推進を宣言
岡山大学	▶「SDGsに関する岡山大学の行動指針」の策定 ▶「SDGs推進本部」を設置 ▶「SDGs入門」のガイダンス科目の設置(全ての新入生が受講)
広島大学	▶全学のSDGs関連のワンストップオフィスNERPSの設置 ▶東広島市や住友商事、ソフトバンクと東広島キャンパスのスマート化、グリーン化に関する包括連携協定の締結
千葉商科大学	▶「千葉商科大学SDGs行動憲章」を策定 ▶大学所有のメガソーラー発電所などの発電量と大学のエネルギー使用量を同量にする「自然エネルギー100%大学」をめざす
上智大学	▶「上智学院サステナビリティ推進本部」を設置 ▶2020年度秋学期から、人文・社会科学系の6学科が協力した新プログラム「持続可能な未来を考える6学科連携コース」を開設 ▶四谷キャンパスで使用する電力に100%再生可能エネルギーを導入
東洋大学	▶「学校法人東洋大学SDGs行動憲章」の策定 ▶小中高校向けに教員によるSDGs達成の学習支援プログラム提供など
早稲田大学	▶「Waseda Carbon Net Zero Challenge 2030s」を宣言 ▶全学部にカーボンニュートラル副専攻の設置など
中部大学	▶「国際ESD・SDGsセンター」を設置 ▶国連大学認定の中部ESD拠点幹事として、伊勢・三河湾流域圏の課題解決に向けた人材育成に取り組む

*大学の公表情報をもとに編集部にて作成

【図表3】SDGsに対する大学と留学希望者の優先度の比較

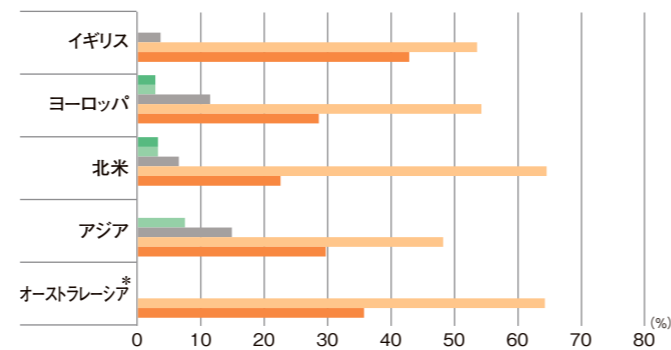


*エントリー大学数：THEインパクトランキング2021より。
留学希望者のデータ：THEインパクトランキングによる2021年3月実施の調査結果より、n=2000

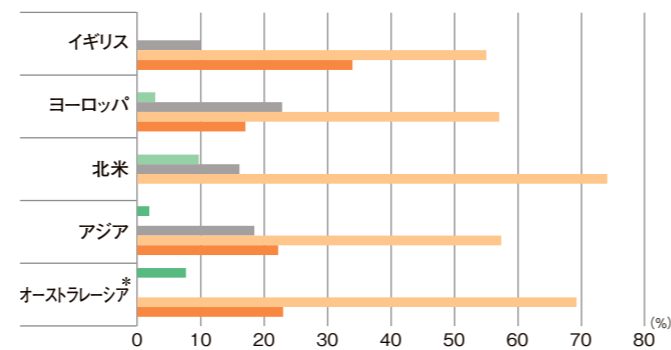
【図表1】これからの大学運営・教育・研究の意向

■まったく同意しない ■同意しない ■どちらでもない ■同意する ■強く同意する

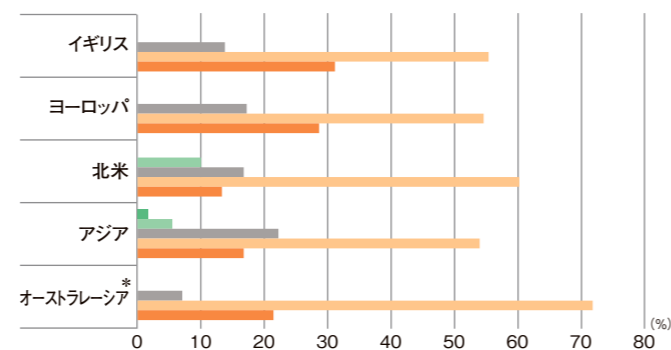
Q.貴学では、今後5年間で「部分的に」オンライン(ブレンディッド型)の学位をより多く提供することにどの程度同意しますか?



Q.SDGsの遂行が、貴学の運営にどの程度反映されていると思いますか?



Q.SDGsが今後5年間の貴学の研究の優先順位にどの程度影響することに同意しますか?



*【THE Leaders Survey 2021】(2021年6月~8月実施、n=180。データは各国・地域の大学からの回答の合計)
オーストラレーシア：オーストラリア・ニュージーランド・ニューギニア、および近海の諸島

トさせ、その成果を発信する大学は増えつつあります。世界に目を向ければ、SDGsへの取り組み状況が指標のTHEインパクトランキング総合1位のマンチェスター大学はSDGs専門の部門を設け、全てのゴールに対して組織的に取り組んでいます。

国内を見ても、研究、人材育成、キャンパスのCO₂排出量実質ゼロをめざす三位一体の「カーボンニュートラル宣言」を出した早稲田大学、所有するメガソーラー発電所などの発電量と自学のエネルギー使用量を同量にし、「自然エネルギー100%大学」をめざす千葉商科大学など、気候変動への本格的な取り組みを始動させた大学も見られます【図表2】。

一方で、SDGsに対する学生の意識と大学の取り組みには、まだギャップがあります【図表3】は、THEインパクトランキングにエントリーした大学数と、学生(留学希望者)の関心の度合いをSDGsの目標ごとに比較したものです。目標4「教育」では、大学のエントリー数と学生の関心の両方が高いものの、目標13「気候変動」は、学生の関心が高いわりにエントリー大学数は多くありません。「気候変動」にエントリーする場合、「カーボンニュートラ

REPORT

海外の高等教育の動向、関心事

~これから組むべき地域や大学は？

コロナ禍による国境を越えた移動の制限が長引く中、いくつかの大学で連携協定を結ぶ国や相手を見直す動きが見られる。Times Higher Education (THE)の各種ランキング等のデータから、今後注目すべきテーマや地域、大学の動向を紹介する。



(株)進研アド 改革支援室
柴田 聡子
しばたさとこ (株)ベネッセコーポレーション 大学事業部、シンガポール、英国勤務を経て2018年より現職。ランキングや海外の動向分析を基に、大学の国際化を支援。

国際連携に求められるグローバルイシューへの取り組み

サステナビリティが研究や大学運営に影響

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から約2年が経過した今、海外の高等教育のリーダーたちはコロナ禍対応で得た知見を生かし、ニューノーマルの実現に向けて前進を始めています【図表1】は、THEが2021年に実施した世界の大学のリーダー向け調査「リーダーズ・サーベイ」の結果の一部です。コロナ禍で一般化したオンライン教育に関しては、ブレンディッド型の授業でも学位を出すことに前向きな回答が多く、オンラインのメリットを十分に生かそうとしています。

加えて、高等教育においてもサステナビリティが一層注目されるようになってきました。同調査でも、「今後SDGsが大学の研究内容や運営に影響する」という意見が主流です。特に気候変動については企業からの積極的な投資が増えると考えられます。2021年秋にイギリスのグラスゴーで開かれた「THE Leadership & Management Summit」では、同地がCOP26の開催地だったこともあり、気候変動やカーボンニュートラルなどのテーマが盛んに取り上げられました。日本政府も2020年に「2050年カーボンニュートラル宣言」を出しており、今後は日本の大学にも脱炭素社会に向けた研究や人材育成が、強く求められるでしょう。

大学の評価や学生募集とSDGsとの関係

コロナ禍も気候変動も、人類共通のテーマとして国を越えて解決策を考えなければならぬ問題です。その意味では、グローバルイシューに関心を持ち、国際的な課題に取り組む人材こそが、これからのグローバル人材と言えます。大学はこうした人材育成に向け、教育や研究、大学運営のあり方を見直すだけでなく、大学そのものが一つの社会的な存在としてSDGsに取り組み、学生を導く必要があるのではないのでしょうか。すでに新たな取り組みをスター

* 国連気候変動枠組条約第26回締約国会議

【図表9】THEアワードアジア2021 最終選考結果

カテゴリー	最終選考に残った大学
リーダーシップとマネジメント	藤田医科大学、アンナジャ国立大学、チュラロンコン大学、ディボネゴロ大学、レバノンイスラム大学、カリガ産業技術研究所(KIIT)、ラサール芸術大学、マレーシア・サラワク大学
芸術の振興	バスラ大学、北京師範大学(中国文化国際コミュニケーションアカデミー)、浙江伝媒大学、ハマドビンハリファ大学、香港バプテテスト大学、ナコンラーチャーマーラーチャバット大学、天津ジュリアード音楽院、温州大学
国際戦略	ビルツァイト大学、香港中文大学、チットカーラ大学、杭州電子科技大學、キング・ファイサル大学、クルーク大学、上海大学、南方科技大學
学生支援	アイルラング大学、チュラロンコン大学、香港バプテテスト大学、マバラカット・シティ・カレッジ、マレーシア・ブルリス大学、ナコンラーチャーマーラーチャバット大学、南洋理工大學、ペトロナス工科大学
学生募集活動	アルマレファ大学、アルマティ経営大学、ハノイ工科大学、南洋理工大學、O.P.ジन्दル・グローバル大学、上海大学、シュリーニ大学、慈済大学
教育・学習戦略	アイルラング大学、香港城市大学、ガルフ医科大学、ラホール経営科学大学、マレーシア・サラワク大学(応用学習およびマルチメディアセンター)、経営技術大学、国立中山大学、シンガポール国立大学
テクノロジーによる革新	香港バプテテスト大学、マバラカット・シティ・カレッジ、マラカンド大学、シンガポール国立大学、国立雲林科技大学、O.P.ジन्दル・グローバル大学、蘇州大学、延世大学校
組織の活性化	アミティー大学ノイダキャンパス、ディボネゴロ大学、ファイサラバード大学、キング・ファイサル大学、南洋理工大學(法務・秘書室)、国立東東大学、O.P.ジन्दル・グローバル大学、セントジョセフ大学ベイルート校
データポイントメリットアワード	関西医科大学、関西学院大学、中南大学、広西大学、イマームアブドゥラマンビンファイサル大学、ヨルダン大学、タバー工科大学、国立ウタラマレーシア大学
データポイントソーシャルインパクトアワード	広島大学、アブドゥラー・ギョル大学、瀋陽大学校、スラバヤ工科大学、慶北大学校、マヒドン大学、国立彰化師範大学、プリンセス・ヌーラ・アブドゥラハマン女子大学、マレーシア科学大学

*各カテゴリーの受賞校は赤字表示 * 自薦 = 自薦 他薦 = 他薦

【図表8】スコアが伸びている東南アジアの大学

機関	国	THE世界大学ランキング2022					インパクトランキング2021
		総合順位	教育スコア	研究スコア	被引用論文スコア	産業界からの収入スコア	
マレーシア国民大学	マレーシア	601-800	38.1	22.2	44.6	38.3	301-400
マレーシア工科大学	マレーシア	601-800	31.3	22.9	39.4	47.5	101-200
国立ウタラマレーシア大学	マレーシア	601-800	30.6	24.3	42.4	38.2	
モンクット王工科大学 トンブリ校	タイ	801-1000	19.7	17.4	47.4	72.9	=54
テナガナショナル大学	マレーシア	801-1000	18.9	14.9	46.9	91.0	
バンドン工科大学	インドネシア	1001-1200	23.1	20.7	16.3	97.5	101-200
チェンマイ大学	タイ	1001-1200	25.2	17.6	25.9	57.9	101-200
マレーシア・ブルリス大学	マレーシア	1001-1200	20.0	10.6	46.3	35.1	29.3
ガジヤマダ大学	インドネシア	1201+	23.4	14.8	12.5	67.5	=83
バジャジャラン大学	インドネシア	1201+	23.7	9.8	15.2	39.5	201-300
マレーシア・サラワク大学	マレーシア	1201+	23.0	10.6	13.5	35.8	301-400
マレーシア・マラッカ技術大学	マレーシア	1201+	16.5	10.1	16.4	35.2	34.4
	世界平均		27.5	23.1	48.1	46.6	46.9
	アジア平均		25.3	18.9	38.4	48.7	33.9
	日本平均		25.0	16.3	25.9	44.4	27.3

■ アジア平均より高いところ

大学ランキングとは異なる顔ぶれです【図表5、6、及び次頁】。アジア諸国では、インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナムといった国でランクイン大学が増えています【図表7】。特に注目なのはマレーシアとタイです【図表8】。マレーシアは海外の高等教育機関や留学生の誘致を国として推進し、2025年までに留学生25万人という計画を進めています。そのため、世界大学ランキングでも、同国の大学は総じて「国際性」のスコアが高い傾向にあります。タイは、インパクトランキングでチュラロンコン大学が総合23位タイ、モンクット王工科大学トンブリ校が54位タイにランクインするなど、プレゼンスを高めています。また、マヒドン大学は多くの日本の大学と連携しており、千葉大学が同大学にバンコクキャンパスを設置したり、関西医科大学がオンラインで臨床病理検討会を実施し、両国の学生が症例についてディスカッションするなど、さまざまな取り組みを行っています。

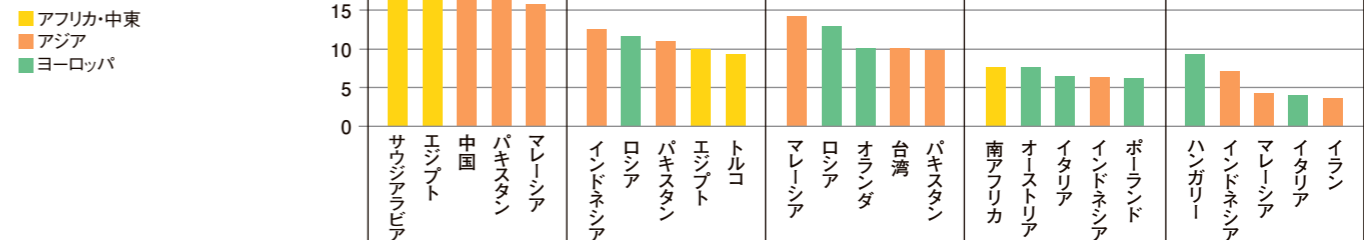
**サミットやアワードを
プレゼンス向上の機会に**

海外大学との関係づくりの一つの方策として、インパクトランキ

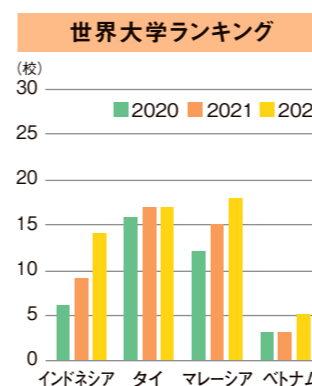
ングへの参加は有効です。17のゴールごとのランキングなので大学の特徴が出やすく、かつ、世界的な課題のため海外の大学との共通のトピックになりやすいからです。「エントリ時に論文数の規定がない」「大学院大学のように学部を持たない大学も参加できる」「国連が設定した目標が指標なので、学内の協力が得やすい」という点でも、多くの大学にとって参加しやすいランキングです。事実、2022年のインパクトランキングにエントリーした大学は1500を超え、世界大学ランキングのランクイン大学数約1600に迫る勢いです。

ランキングへのエントリーからさらに一歩進めて、サミットやアワードへの参加もお勧めです。「THEアワードアジア」は卓越した改革への取り組みを評価するアワードで、自薦が可能。最終選考に残れば海外への広報に有効です。2021年のアワードアジアでは藤田医科大学、関西医科大学、関西学院大学、そして広島大学が最終選考に残り、注目を集めました【図表9】。アジアにおける日本の大学のプレゼンスを高め、海外大学とよい関係を築くために活用してはどうでしょうか。

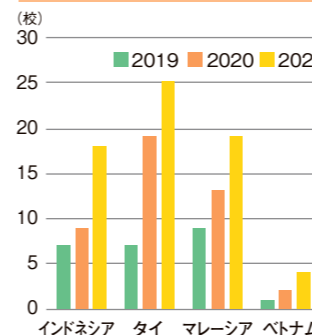
【図表4】THE世界大学ランキング 国別スコアの伸び TOP5 (2018-2022)



【図表7】アジア4か国の ランクイン校数推移



【図表6】世界大学ランキング2022 TOP200内の国/地域別状況



【図表5】インパクトランキング2021 国/地域別総合ランキング状況

国/地域	校数(内は前回)	最高順位の機関とその順位
アメリカ	57(59)	カリフォルニア工科大学、ハーバード大学 =2
イギリス	28(29)	オックスフォード大学 1
ドイツ	22(21)	ミュンヘン大学 32
オーストラリア	12(12)	メルボルン大学 ▼33
中国	10(7)	北京大学、清華大学 △=16
オランダ	10(11)	ヴァーヘニンゲン大学 △53
スイス	7(7)	スイス連邦工科大学チューリッヒ校 ▼15
カナダ	7(8)	トロント大学 =18
韓国	6(7)	ソウル大学校 △=54
香港	5(5)	香港大学 △=30
スウェーデン	5(5)	カロリンスカ研究所 ▼39
フランス	5(5)	PSL研究大学 △=40
ベルギー	4(4)	ルーヴェン・カトリック大学 △=42
デンマーク	3(3)	コペンハーゲン大学 ▼=96
スペイン	3(3)	ボンベウ・ファブラ大学 ▼156
イタリア	3(3)	ボローニャ大学 ▼=172
シンガポール	2(2)	シンガポール国立大学 △21
日本	2(2)	東京大学 △=35
オーストラリア	2(1)	ウィーン大学 △=137

*△:前回よりアップ ▼:前回よりダウン (いずれも前回のトップ大学の順位との比較)

【図表4】被引用論文、産業界からの収入、国際性、研究、教育

国/地域	校数(内は前回)	最高順位の機関とその順位
日本	75(63)	広島大学、北海道大学、京都大学、岡山大学、東北大学、東京大学、筑波大学 ▼101-200
ロシア	75(47)	アルタイ州立大学、バウマン記念モスクワ国立工科大学、フレハーノフ経済大学 ▼101-200
イギリス	50(34)	マンチェスター大学 △1
インド	49(26)	アムリタ大学 ▼81
トルコ	49(36)	アブドゥラー・ギョル大学、イスタンブール工科大学 101-200
アメリカ	45(31)	アリゾナ州立大学テンペキャンパス ▼9
ブラジル	38(30)	サンパウロ大学 ▼48
スペイン	38(32)	バレンシア工科大学 ▼=83
イラク	37(18)	バスラ大学 △301-400
パキスタン	36(23)	パキスタン国立科学技術大学 ▼201-300
台湾	35(24)	国立成功大学(NCKU)、国立台湾大学(NTU) ▼101-200
エジプト	31(23)	アスワン大学 △95
イラン	27(17)	イラン医療科学大学 △35
タイ	25(19)	チュラロンコン大学 △=23
オーストラリア	24(21)	シドニー大学 2
カナダ	23(19)	クイーンズ大学 △5
マレーシア	19(13)	マレーシア科学大学 △=39
メキシコ	18(16)	メトロポリタナ自治大学 △=28
インドネシア	18(9)	スラバヤ工科大学 ▼=64
フランス	18(16)	IMTアトランティック、ナント大学、PSL研究大学 ▼101-200
コロンビア	18(11)	エアフィット大学 ▼201-300
韓国	17(16)	延世大学校ソウルキャンパス △=30
イタリア	16(10)	ボローニャ大学 ▼20
チリ	16(13)	アンドレス・ベリオ大学(UNAB)、カリカテラ・サンティシマ・コンセプション大学、チリ・カトリック大学 ▼201-300

*【図表4】～【図表9】はTHE公表のデータ、情報に基づき編集部でまとめ

「こうした世界の高等教育の潮流の中、今後連携を進めるべき注目地域や大学はどこか、THEのランキングを基に考えてみます。THE世界大学ランキング2022の結果を分析すると、前年よりもスコアの伸びがめだつエリヤはアジアやアフリカ、中東です【図表4】。かつてアフリカや中東は、日本の大学にとっては地理的な問題からアプローチが難しい地域でした。コロナ禍によりオンライン環境が整ったことで、今はこうした地域の大学ともオンラインを使えばコミュニケーションが取りやすくなっています。

また、THEインパクトランキング2021でランクインした大学数を見ると、インド、ブラジル、イラン、タイ、マレーシアといった国が上位にあがっており、世界

**研究やSDGsの推進で
躍進するアジア、中東**

ルを宣言しているか」が指標項目になっているため、ためらう大学も多いと考えられます。しかし、学生や社会からの期待の大きさを考えると、気候変動への取り組みは、今後の大学の評価や学生募集に関わる問題だと言えるでしょう。